

PRINS ENERGY

ポーラスアスファルト舗装の交通安全対策



PRMSグリップ工法は

すべり抵抗が低下した既設ポーラスアスファルト舗装上に 透水性レジンモルタルを薄層でかさ上げすることにより すべり抵抗性能の向上を図る交通安全対策工法です。

PRMS グリップ工法の特徴

安全性の向上(すべり抵抗の向上)

細かな骨材が路面に敷設されるため、タイヤをグリップし、スリップ事故を減らすことが可能です。







モルタルの混錬



路面への敷均し









完 成





《構造断面図》





カラーサンプル





白



緑



黄





黒

青 茶

レジンバインダの品質規格

項目		単位	品質規格	試験方法				
可使時間	20℃(夏用)	分	≧10	硬化発熱温度方法 (200g/200mlカップ)				
	10℃(冬用)		≧7					
引引	長強度	N/mm²	≥20	JIS K7113 (1号形試験片)				
硬 度	夏用	ショアーD	≥65	JIS K7215 (20°C、24hr後)				
	冬 用		≥75					

標準骨材の品質規格

項目	品質規格			試験方法
色調	黒	白	黄・緑 茶・青	
単位容積重量	1.5~2.0 g/cm³	1.2~1.6 g/cm³	1.2~1.6 g/cm³	JIS A1104
粒度分布 (通過重量百分率)	1.0 0.5	mm 10 mm ≧7 mm ≦3 mm ≦	JIS A1102	

透水性レジンモルタルシステム工法協議会会員 (アイウエオ順)

施工会社

アナミ舗材株式会社、大林道路株式会社、鹿島道路株式会社、大成ロテック株式会社、株式会社辻広組、東亜道路工業株式会社常盤工業株式会社、ニチレキ株式会社、日進化成株式会社、日本道路株式会社、株式会社NIPPO、美州興産株式会社株式会社、株式会社平野組、福田道路株式会社、前田道路株式会社、三井住建道路株式会社

材料会社

オサダ技研株式会社、中外商工株式会社